



うわじま 市議会だより

令和8年
(2026)
第82号

3月1日



宇和島百景～雪道を歩む～

3月定例会の日程

(2月)

24日 本会議

(開会、令和7年度分理事者提案説明、議案質疑、委員会付託)

委員会

(産建教育委員会)

25日 委員会

(総務環境委員会)

26日 委員会

(厚生委員会)

(3月)

3日 本会議

(令和7年度分委員長報告、質疑・討論・採決、市長施政方針表明、令和8年度分理事者提案説明)

11日 本会議

(代表質問、一般質問)

12日 本会議

(一般質問、議案質疑、委員会付託)

16日 委員会

(総務環境委員会)

17日 委員会

(厚生委員会)

18日 委員会

(産建教育委員会)

25日 本会議

(令和8年度分委員長報告、質疑・討論・採決、閉会)

令和7年度 一般会計補正予算

12月定例会26億4,619万円を追加
総額569億5,588万円

もくじ

●定例会議決結果・議員別賛否一覧表 … 2～3

●一般質問 …………… 4～12

令和7年12月第104回宇和島市議会 定例会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
報 告 第13号	専決処分した事件の報告について	即 日 受 理
専 決 第11号	車両物損事故の和解について	即 日 受 理
認 定 第 1号	令和6年度宇和島市一般会計及び特別会計決算の認定について	認 定
認 定 第 2号	令和6年度宇和島市公営企業会計決算の認定について	認 定
認 定 第 3号	令和6年度津島水道企業団水道用水供給事業会計決算の認定について	認 定
議 案 第100号	宇和島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第101号	宇和島市職員等の旅費に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原 案 可 決
議 案 第102号	宇和島市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第103号	宇和島市職員の給与に関する条例及び宇和島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第104号	宇和島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第105号	宇和島市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第106号	宇和島市職員恩給条例の特例に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第107号	宇和島市立学校設置条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第108号	宇和島市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第109号	宇和島市立学校体育施設等開放に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第110号	宇和島市総合体育館等設置条例及び宇和島市夜間体育照明施設使用条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第111号	宇和島市保育所等設置条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第112号	宇和島市認定こども園条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第113号	宇和島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原 案 可 決
議 案 第114号	宇和島市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原 案 可 決
議 案 第115号	宇和島市農業委員会の委員の定数条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第116号	宇和島市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第117号	宇和島市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議 案 第118号	令和7年度宇和島市一般会計補正予算（第4号）	原 案 可 決
議 案 第119号	令和7年度宇和島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第120号	令和7年度宇和島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第121号	令和7年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原 案 可 決
議 案 第122号	令和7年度宇和島市下水道事業会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第123号	令和7年度宇和島市水道事業会計補正予算（第2号）	原 案 可 決
議 案 第124号	工事請負契約の変更について	原 案 可 決
議 案 第125号	土地改良事業の実施について	原 案 可 決
議 案 第126号	土地改良事業の実施について	原 案 可 決
議 案 第127号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の一部変更について	原 案 可 決

議案第128号	財産の取得について	原案可決
議案第129号	令和7年度宇和島市一般会計補正予算（第5号）	即日原案可決
議案第130号	令和7年度宇和島市水道事業会計補正予算（第3号）	即日原案可決

請願・陳情（新規審査分）

番号	件名	議決結果
請願第1号	宇和島市議会一般質問ライブ中継録画配信と議会傍聴できる環境整備に関する請願書	※一部採択

※1-1及び2については採択、1-2及び3については不採択

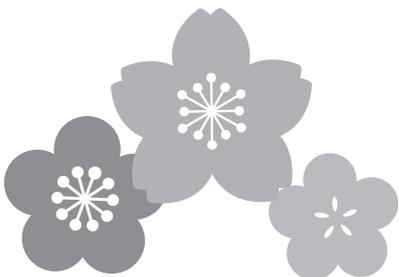
議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	みずほ					ゆうほ会					公明党		自由民主党 創政会			無会派			賛成 合計	反対 合計	退席 合計	議決結果		
	中平 政志 議長	清家 康生	佐々木 宣夫	三 重 義和	福本 義二	泉 大樹	石崎 晋介	細川 秀忠	田中 三也	梶山 司博	兵頭 正三	我妻 理恵	宮崎 博文	畠山 美幸	浅田 忠弘	山瀬 孝寛	赤松 真太郎	明石 洋子					榎野 定彦	山本
議案第129号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	18	1	0	即日原案可決
請願第1号	1-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	0	0	採 択
	1-2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	6	13	0	不採 択	
	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	0	0	採 択
	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	2	17	0	不採 択	

※中平政志議員は議長のため採決に加わっておりません。

(○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)



令和7年12月1日発行第81号中の5ページ、題目「令和7年9月第103回宇和島市議会 定例会議決結果一覧表」中の「認定第3号 令和6年度津島水道企業認定第1回水道用水供給事業会計決算の認定について」は、「認定第3号 令和6年度津島水道企業認定第1回水道用水供給事業会計決算の認定について」の誤りです。訂正し、お詫びを申し上げます。

お詫び



自由民主党 創政会

山瀬 忠弘

選ばれるまちへ

【質問】 市民に新伊達博物館の工事現場を現在進行形で発信すべきと思うが、市ホームページの1ページ目のサイトでクリック（簡単に情報入手）できないか。

【答弁：教育部長】 現在、市ホームページのほか、X、インスタグラムを活用し、定点観測や工事現場の様子等を紹介しています。

【質問】 目的の情報に簡単にたどり着くべきとの御指摘については、担当部局とも協議しながら改善を図り、利用者目線の対応に努めます。

【答弁：産業経済部長】 令和7年11月末時点で計

画どおりに進行しており、屋根及び外壁工事はほぼ完了しています。また、北側の足場は2階部分が撤去され、前面道路から建物の姿が確認できます。

【質問】 今後は、内装仕上げ作業、屋外設備の設置及び外構工事を進め、令和8年3月末の建設完了を目指して取り組んでおり、オープン日は4月下旬を予定しています。

【質問】 樺崎大橋の進捗状況及び橋の開通と周辺整備の完了時期について問う。

【答弁：建設部長】 愛媛県から、周辺道路の工事を含め、令和7年度末の供用開始を目標に進めており、順調と伺っています。

【質問】 道の駅きさいや広場と藩

老桑折氏武家長屋門横のトイレについて問う。

ようやく本市の顔になるトイレができるが、観光地の女性用トイレは長蛇の列となるため、男性用トイレよりも広く造っていただきたい。また、和式のトイレは不必要と考える。

【答弁：産業経済部長】 きさいや広場の正面駐車場と桑折長屋門横のトイレは、今年度中に改修する予定です。今ある施設を改修するため、物理的に施設全体を広くすることは難しいものの、和式を洋式に変更するほか、内部設備を更新し、清潔で快適に利用できるように改修したいと考えています。

【質問】 具体的には、きさいや広場は、女性トイレ2か所、男性トイレ1か所の和式を洋式化することで、全てのトイレが洋式となります。また、照明、換気扇等も更新し、明るく清潔な環境となるよう改修を行います。

【質問】 桑折長屋門横のトイレも、女性トイレ3か所、男性トイレ1か所の和式を洋式化し、こちらも全て洋式トイレとします。さらに女性用トイレの個室を広くするため、パーテーションの

位置を変更し、若干の拡張を行う予定です。また、外壁の塗り替え、照明器具等の更新なども行い、より快適に御利用いただける空間づくりを行います。

各種補助金について

【質問】

宇和島看護専門学校は、本市と南予地域においてなくてはならない存在だ。少しでも魅力的な学校にするため、生徒に対しても、学校のハード面・ソフト面でも充実した援助体制を構築しなければならぬが、市として協力できることがあるのではないかと考えています。

【答弁：市長】

この地域に優秀な医療人材を育てていただいております。非常にありがたい学校であると考えています。

【質問】 宇和島市社会福祉協議会の補助金について問う。

【答弁：副市長】 社会福祉協議会は、市と連携・協働して、地域福祉を推進する大変重要な役割を担っている団体です。これまで以上にそれぞれの施策や課題などについても共有しながら、本協議会の経営改善も含め、十分な協議をしていきたいと考えています。

あい介護体験といったことについても、市ホームページや広報うわじま等で発信させていただいています。市としてでき得ることはしっかり対応していきま

【質問】 宇和島市社会福祉協議会の補助金について問う。

介護に関わる方々の給与は一般的に低くなりがちだが、なくてはならない大切な仕事だ。今まで以上に誇りを持って、仕事ができる環境を整えることも市の役割ではないか。

【答弁：副市長】

社会福祉協議会は、市と連携・協働して、地域福祉を推進する大変重要な役割を担っている団体です。これまで以上にそれぞれの施策や課題などについても共有しながら、本協議会の経営改善も含め、十分な協議をしていきたいと考えています。

その他の質問事項

◆高校統合に対する本市の協力体制について

◆危機管理体制について

ゆづほ会

ほそかわ
細川 晋介
しんすけ

宇和島フォトフェスティバル2025について

【質問】

市民から広報不足、内容が難しい、子どもが楽しみにくい等の声があるが、どのように受け止めているか。今後、より体験型、子どもも参加しやすい、アートを身近に感じられる内容へ改善する考えはあるか。

【答弁：市長公室長】

広報不足について、SNSやウェブサイトを中心としたオンライン媒体に加え、広報紙、ポスター、チラシ、パンフレット、ケーブルテレビ等の手段で情報発信に努めました。しかし、アーティスト情報や詳細の確定が開催間近となり情報が行き渡らなかつたことが要因の一つと認識しています。タイトなスケジュールだったことも踏まえ、市民の皆様が早期に概要を知ることができるよう工夫が必要だったと認識しています。

内容の難しさについて、

アートフォトは視覚的な美しさや感覚的なインパクトだけでなく、込められたストーリーやコンセプト、メッセージも重要視されるため、風景写真やポートレートに比べ、特に抽象的な表現や視覚的にインパクトのある作品は見る人にとって理解しづらい、意味が分からないと感じられ評価が分かれます。一方、その難しさが魅力であり、新しい視点と深い魅力を感じてもらえる機会だったと考えます。今回は各作品の解説や意図等を示したキャプションを設置しましたが、より分かりやすい解説を加えることや展示方法に工夫を凝らす必要があったと感じます。

子どもが楽しみにくい点は、子ども向けのワークショップを用意しましたが、開催日や回数を増やしてほしいという意見があります。今後、同様のイベントを開催する場合は子どもたちがより楽しめるプログラムを検討したいと考えます。

【質問】

宇和島の魅力を発信する

手段としてアートを活用する理由をどのように説明できるのか。また、日常の中にアートを溶け込ませ市民の誇りや市民愛を育てる取組を導入する考えはあるか。

【答弁：市長】

課題があることは承知しており、これからのような形で進めるのが大きな課題だと認識しています。デザインを含めた検討になると思いますので、議員の皆様にお示しできたらと考えています。

新しい姿の商店街づくりについて

【質問】

商店街をアスレチック特化型屋内公園として再活用する構想をどのように受け止めているか。実現が難しい場合はその理由や課題について問う。

【答弁：市長】

商店街、中心市街地の今後の在り方は、宇和島商工会議所が主体でさまざまなミットが開催され、市が主催する事前復興のワークショップでも議論されてい

ると承知しています。雨の日に子どもを連れていく遊び場所がないことをクリアできるのではないかと、わくわくする企画だと思います。

一方で、商店街の方が売の在り方についてどう考えるか等、課題があると認識しています。商店街の皆様がどのように考えるか、お聞きしたいと考えています。

マルシェイベントの可能性について

【質問】

市民や民間事業者が気軽に企画提案でき、迅速に採択、実行できる制度の構築について問う。

【答弁：市民環境部長】

本市では多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、来年4月に中央公民館2階に市民協働センターを開設する予定です。

ここでは、地域課題の解決に向けた支援を含め、市民の皆様との提案や相談ができます。また、迅速な採択、実行について、提案から採択、実行までに一定の期間

をいただいているのは提案が今後の市民協働のまちづくりに資するものかを慎重に審査しているためです。

宇和島市公式YouTubeチャンネルの強化について

【質問】

既存のチャンネルを分かりやすく面白く伝える媒体として強化するため、プロの司会者起用や動画制作の外部委託等専門的な制作体制を構築する考えはあるか。

【答弁：総務部長】

そのクオリティを高めるためには行政職員のみだけでは難しい分野だと思っております。どのぐらいの数のものをどれぐらいのボリューム、頻度、クオリティでといったことは案件ごとに異なるので、予算措置も含めて検討する必要があります。とさせていただきます。

その他の質問事項

◆ブルーカーボン・ブルーエコノミーを軸とした新しい宇和島モデルの構築について

公明党

みやざき
宮崎 理恵

児童・生徒の健全育成について

【質問】

ランドセルが重く、遠路を通う児童もいる。タブレット端末や教材等が必要ないときに学校で管理保管できるシステム等について、本市では各学校で工夫しているのか問う。

【答弁：教育部長】

児童・生徒の負担軽減と家庭学習の両立を図るため、学年や学級ごとに学校に置いて帰ることができる教材を定めています。

教育委員会は、学校に対し家庭学習や宿題で使用する可能性が高い教科書、ノート類は持ち帰り、それ以外の教科書や副教材は、できるだけ学校に置いて帰るよう指導しています。各学校では、児童・生徒の体力面や学習環境も考慮しながら工夫し、多くの学校で通信等を通じて保護者にも理解協力をお願いしています。

廃校の活用について

【質問】

学校や保育施設の統廃合により廃校となった校舎や保育施設で、まだ使用可能な、修繕可能な設備について、今後どのように活用するのか問う。

【答弁：企画政策部長】

地域住民と意見を重ねながら利活用について検討しています。学校跡地等を拠点とした地域づくりは、地域活力の維持や向上につながる有効な手段の一つであると認識しているため、該当地域住民から幅広く意見を伺いながら、産官民が連携し、持続可能な取組となるよう活用方針を検討したいと考えます。

英語能力推進について

【質問】

国が実施する生徒の英語力向上推進事業がある。自治体は、これを活用してALTの充実など、英語教育を強化できる。ALT配置も各小中学校専任など、更なる充実を図ってはどうか。

【答弁：教育部長】

令和4年度以降、市内の6つの中学校にそれぞれ1名ずつ、計6名のALTを配置している他、小学校高学年の授業では2週間に1度、日本人英会話指導助手が学校を訪問し、5年生、6年生の授業で、授業者と一緒に授業を行うことで、外国語の学びをより深めることができるよう体制を整備しています。

集団検診について

【質問】

乳がん検診のマンモグラフィー検査に超音波検査を併用する研究が行われた結果、マンモグラフィー単独での感度が77%だったのに対し、エコー併用では91%に向上したそう。本市の乳がん検診の今後の取組について問う。

【答弁：保健福祉部長】

本市の乳がん検診は、厚生労働省の指針に基づいたマンモグラフィー検査を愛媛県総合保健協会とJA愛媛厚生連の2団体へ委託し実施しています。JA愛媛厚生連では、検査の結果で、

乳腺タイプが高濃度と不均一高濃度の方へは、補助的検査として乳腺の超音波検査を実施する機会を設け、受診を案内しています。

マンモグラフィー検査と超音波検査の併用実施は、現在、国が一般住民を対象とした検診で死亡率の減少につながるか検証中のため、国の動向を注視します。

教員の長時間労働について

【質問】

教員の成り手不足の要因として、保護者対応で行き詰まりを感じ、メンタルに影響を受ける例が多いと聞く。県は保護者からの過剰な苦情の対応について相談窓口を開設したが、本市では、その認知度や活用状況を把握しているか。設置に向けて取り組んでいただきたい。

【答弁：教育部長】

県の学校問題解決支援チームは、県教育委員会で今年度から運用が開始され、今年9月に市教育委員会に案内があり、各学校を通じて、各家庭に周知して

います。

問題解決支援チームに相談があった場合、相談者の意向によって、学校や市教育委員会にも連絡が届く仕組みです。県の相談窓口のため、活用状況等の詳細については分かりかねますが、今年度、本市の小・中学校に関し数件の利用があったと把握しています。

なお、市教育委員会における状況は、学校教育課が窓口となり、様々な相談をいただいておりますが、現時点では、新たに窓口を設置する予定はありません。



無党派

あかし 明石 眞太郎

市職員の処遇改善について

【質問】

自家用車で通勤し駐車場代を自己負担している職員数と、その一月当たりの平均額が幾らかを把握しているか。

【答弁：総務課長】

自己負担している職員は、会計年度任用職員を含め824名で、申告のあった職員の約61%であり、自己負担額の平均は一月当たり約2,850円です。

なお、自己負担額が比較的低い理由は、保育園や学校、公民館等、出先施設に勤務している職員に対し、利用者に支障を来さない範囲で敷地内での駐車を認め、その一月の使用料は、市内中心部で3,500円、周辺部で2,000円と比較的安価なことが主な要因と考えます。

【質問】

通勤に必要な経費

を多くの職員が自己負担しなければならぬ状況は改善していただきたい。

令和7年人事院勧告において、国家公務員の駐車場等の利用に対する通勤手当を令和8年4月から新設するべきと勧告されたが、本市職員の駐車場代について、公費負担を検討する考えはあるか。

自己負担することがないように、あるいは少しでも軽くなるように予算措置していただきたい。

【答弁：総務部長】

職員の駐車場等の利用に対する通勤手当の新設は、国が示す制度の内容や他市の状況等を踏まえ検討します。実施するかどうかは現状未定ですが、仮に令和8年4月から手当を新設する場合、3月議会に関係する議案を上げたいと考えます。

本市の財政について

【質問】

10月10日に西予市が、西予市財政危機脱却プラン2025を発表した。財政危機から脱却するため、市民

側も理事者側も双方に痛みを伴う改革だが、市民より、近い将来、本市も財政的な危機に直面するのではないか、と心配の声をいただく。現在の本市の財政はどのような状況にあるか。今後、財政危機に直面する可能性はないのか。

【答弁：副市長】

令和6年度決算に基づくと、基金残高について、財政調整基金は約51億、その他特定目的基金も合わせると約205億円の基金を保有しています。実質公債比率は5・6%で、県下11市のうち2番目に良好な数値、将来負担比率も、前年に引き続き算定数値なしで、現時点の財政状況は一定の健全性を保っていると考えます。

その主な要因3点について、1つ目は、合併後、職員定数の削減に努めたこと、2つ目は、地方創生の国の手厚い支援が継続していること、最後に合併特例債が活用できたこと、これらが健全性の向上に寄与してきたものと分析しています。

しかし、近年の物価高騰

により歳出が増大し、特に人事院勧告に準拠した職員給与の増加もあり、財政の弾力性は低下傾向です。また、合併特例債は今年度で終了ですが、有利な地方債の過疎債、辺地債には国の資金枠があり、今後は交付税措置の低い地方債を使わざるを得ない状況です。

今後は、事業の見直しや公共施設の統廃合などを行い、これまで以上に将来負担について精査しながら財政運営を行う必要があると考えます。

【質問】

本市でも、財政課を中心として中長期財政計画を作成し、中長期的な歳入歳出等のシミュレーションをしていると考えるが、今後、10年後の財政状況の見通しについて問う。

【答弁：総務部長】

人口減少の中、自然災害の頻発、コロナ禍、物価高騰など、短期間に取り巻く状況が大きく変化し、10年後を正確に見通すことは非常に難しい状況と考えます。

本市の財政力指数は0・34で、市税をはじめとする

自主財源が強固であるとは言えません。国税収入や交付税をはじめとする国の地方財政政策の考え方に大きく左右される体質であることを踏まえ、基本的なトレンドとして、歳入は全体で毎年減少傾向を見込まざるを得ないと考えます。

歳出の削減がこれに追いつかない場合は、基金等を使いながら対応することになるので、今後はこれまで以上に財政規律に注意を払いながら、堅実な財政運営に努める必要があると考えます。

その他の質問事項

- ◆教職員の働き方について
- ◆子育て支援及び産後ケアについて
- ◆若者がいる街、帰ってくる街へ



みずほ

三 二 重 郎

地方創生事業のうち、
第一次産業の振興について

【質問】 高温化に対応した稲品種の普及状況について、また、今年の稲作の収穫量は昨年と比べてどうだったのか。

【答弁：産業経済部長】

高温耐性品種であるにじのきらめきの導入が進んでいます。JAえひめ南によると令和4年度から6年度における試験的な栽培を経て、今年から本格的に導入が開始され、市内における苗箱供給数は約9,700枚で、全供給数約5万1,000枚のおよそ19%を占め、令和8年も普及が進んでいくと思われます。

次に、今年の稲作の収穫量については、JAえひめ南管内の主食用米の出荷量は約1,800トンを見込み、昨年の1,530トンと比較し、270トンの増となっています。

【質問】 今年のかんきつの収穫量の見通しは昨年と比べてどうか。

【答弁：産業経済部長】

令和7年産温州みかんの生産量の見通しについては、JA全農えひめと愛媛県では、県内予想生産量は10万3,000トンで前年に比べ36%増加と発表しています。また、JAえひめ南では、管内の生産予想量を1万3,800トンとし、いずれも記録的な不作となった昨年からは回復する予想となっています。

なお、JAえひめ南に確認したところ、令和7年産極早生温州の出荷量は2,728トンで、前年と比較し658トンの増となっています。

【質問】

今年の赤潮の被害状況について問う。

【答弁：産業経済部長】

愛媛県漁業協同組合によると、6月から8月にかけて、下波、遊子、宇和島、吉田支所管内の11業者でシマジ、マダイ、ブリ等約4万8,000尾がへい死する被害が発生しています。

【質問】 アコヤガイ稚貝の漁場のへい死状況について問う。

【答弁：産業経済部長】

へい死発生当初は、へい死率が少なく半分程度、全滅という事例も多く見られたが、本市が県漁協と行いました今年のモニタリング調査の結果では、8月上旬時点の目視による推定へい死率は、多い漁場で3割程度であり、目立ったへい死がない漁場も見受けられ、稚貝のへい死が発生して以来、最もへい死が少ない状況でした。

【質問】

今年の米価、かんきつ、マダイ、ブリ、真珠の単価等について問う。

【答弁：産業経済部長】

米価は、JAえひめ南によると、令和7年産コシヒカリ、玄米30キロ当たりの概算金が1万5,100円で、前年8,250円と比較し、6,850円の増となっています。

次に、かんきつは、極早生温州の1キロ当たりの仕切り単価が244円で、前年233円と比較し11円の増となっています。

続いて、県漁協によると、マダイの浜値は、昨年の夏頃から1キロ当たり900円前半で推移し、小幅な値動きとなっています。また、ブリの浜値も、在池尾数が少ないこともあり、昨秋以降値が上がり始め、昨年12月に1キロ当たり1,000円を超え、その後も徐々に高騰し、今年の9月以降は1,500円を超える状況です。

最後に、真珠の価格は、今年1月から3月に行われた入札会で、1匁当たり平均価格が6,715円と、稚貝へい死発生前の平成30年度と比較すると平均単価は約2倍となり、比較的良好な価格が続いています。

経常収支比率について

【質問】

経常収支比率について、令和2年度が86.5%、令和4年度が89.9%、令和6年度が91.6%と、この6年間で約5ポイント悪化している。本市では80%未満が理想とされている。職員数に大きな変動は見られないが、悪化の大きな要因は何か。また、改善に向けて

どんな取組を考えているか。

【答弁：総務部長】

上昇の主な要因は、算定の際に用いる分母となる経常収入がそれほど増加しない中、分子側となる経常費用において、非正規職員や若年層の給与改善などを伴う人件費が増加したほか、社会福祉などの扶助費の増加、また物価高騰等の影響による物件費の増加などが挙げられます。

人口減少の影響により、一般財源は今後も減収の傾向が見込まれ、歳出の見直しを随時行うことで収支の均衡を保つとともに、経常収支比率を含めた各種財政指標の状況には十分注意を払い、健全な財政運営に努めたいと考えます。

その他の質問事項

◆教育行政について

◆宇和島市公共施設等総合管理計画について

公明党

わがつま
我妻 正三
しょうぞう

宇和島フォトフェスティバル2025 UWAJIMA SIGHTS等について

【質問】
関連イベントの集客の相乗効果をどう評価しているか。

【答弁：市長公室長】

作品の展示に加え6つの交流イベント、12の公式イベント、23の連携イベントを開催し、認知度向上や参加者が相互に足を運ぶ流れができ、来場者数の増加につながったと考えています。

アンケート調査ではSNSのシェアや口コミが相乗的に作用し、来場者が他の関連イベントや観光地にも関心を持つ流れも見られました。

【質問】
今後、宇和島フォトフェスティバルを定期的、連続的にやっていくのか。

【答弁：市長】

フォトフェスティバルは舞台もなく華やかな司会者もなく、作品と向き合いながら、その場所がこの地域の資源であるという意味では、多くの方々足を運んでいただくきっかけになると思います。

今回できたことやできなかったことを整理し、どのような形が良いのか皆様と議論したいと思えます。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について

【質問】

物価高騰による市民生活の負担を軽減するための生活支援と事業内容について、市長はどのように活用したいと考えているか。

【答弁：市長】

推奨メニュー等を検討しており、予算案が決まったら速やかに議会の皆様に説明し認めていただき、早期の実施を考えています。

インバウンドとオーバーツーリズムについて

【質問】

現在の本市の訪日外国人インバウンドの受入体制整備の状況について問う。

【答弁：産業経済部長】

シロシタ及び木屋旅館は、日本政府観光局認定の外国人観光案内所として登録されており、英語対応を通じてインバウンド旅行者へのサポートを行っています。

また、外国船のクルーズ寄港時には臨時案内所を開設し、利便性向上に努めています。

観光案内の充実を図るため、市内観光看板の多言語化主要観光施設への誘導標識の多言語対応を進め、デジタル推進課が中心となり公衆WiFi環境の整備を進め、市内での円滑な通信環境を提供し、中小企業者向けのキャッシュレス導入支援事業を通じてキャッシュレス化も推進しています。

【質問】

多言語での効果的な観光情報の発信について、見解

を問う。

【答弁：産業経済部長】

本年度から観光デジタルマーケティングアドバイザーを配置し、インバウンド専用のランディングページを開設し、海外向けSNS広告を実施する予定で、インバウンド旅行者の嗜好に合わせた観光情報を効果的に提供します。

旅中の情報発信では、観光案内所での英語対応をベースにインバウンド向け観光パンフレットを配布し充実化を図っています。

これらの取組を有機的に展開し、インバウンド旅行者の利便性向上と円滑な観光体験の支援に努めたいと考えています。

【質問】

本市も瀬戸内・松山ツーリズム推進会議の修学旅行誘致推進事業の助成金のよう費用面でサポートを検討すべきではないか。

【答弁：産業経済部長】

瀬戸内・松山ツーリズム推進会議による修学旅行助成制度は、旅行に伴う交通費や宿泊費、施設利用料などの一部を助成する仕組みで、一過性の旅行の経済効

果だけでなく、地域の観光資源への教育的な理解を促進することや、修学旅行の思い出をきっかけとした再訪により、将来的な観光需要の増加につながる可能性があるかと認識しています。

一方で修学旅行は春季及び秋季に集中するため、行程管理の効率化や民泊事業者の登録促進など、繁忙期でも安定して対応できる受入体制を整える必要があります。

宇和島の特色をいかした体験プログラムの整備なども重要と考えており、これらを含め総合的に検討を進める必要があると認識しています。

その他の質問事項

◆公共施設等や観光施設の自動二輪駐車場の確保について



無党派

山本 定彦

鳥獣害対策について

【質問】

ガバメントハンター兼任の職員などを本市で雇用することを検討してはどうか。

【答弁：市長】

イノシシ等が被害を与える可能性もあることから、国や県における制度や支援策について注視しておく必要性があると認識していません。

『医食同源・身土不二』における食と健康について

【質問】

自治体として、医療費や給食費の無償化の政策がこれから検討されていく中で、ワクチンや服薬、食育の内容容、添加物・農薬なども含めて、行政職員も一緒に学び育てていくようなプラットフォームをつくらせてみてはどうか。

【答弁：市長】

様々な取組をしようとしていますますが、それぞれの進み方のスピード感もあり、難しいと思っています。まずは我々内部のことを共有しながらしっかりと完遂していきたいと思っています。

プラスチックによる人体への影響について

【質問】

環境負荷を低減させる取組、そういった方々が取り組もうとする事業の支援について、国庫補助や様々な補助メニューが可能であればつくってはどうか。

【答弁：産業経済部長】

生分解性漁網については、コスト面のほか、生分解性や強度の検証など、今後さらなる研究開発が進むものと思われるので、漁業の現場で実用化されるようになるか、本市としても情報に注視し、研究していきたいと考えています。

全国で83%の公立病院における赤字が公表されているが、本市病院局の方針について

【質問】

宇和島2次医療圏での急性期の必要なベッド数は本当に正確な数字になっていくのか。再調査を含めて、宇和島2次医療圏での地域医療構想調整会議にて、地域医療の提供体制の維持向上を目指すための議論と並行して、病院局として病床稼働率とDPCⅡ期退院率について見解を問う。

【答弁：医療行政管理部長】

市立宇和島病院における病床稼働率は、令和7年度上半期における暫定値は81.5%となっており、収支が黒字でかつコロナ禍前の平成30年度における95.8%と比較して、大きく減少しています。

これを改善するため、毎営業日に診療科別の入院患者数を医療従事者に共有し、医師・看護師を含む職員全体で稼働状況を強く意識しながら業務に取り組みことで、病床稼働率の向上に努めるための取組を実施

しています。

次に、こちらも今年度上半期における暫定値ですが、DPC入院期間Ⅱでの退院率は36.3%となっており、厚生労働省から明確な全国平均値は公表されていませんが、全国的な傾向と比較してやや低い水準であると認識しています。

期間内退院率向上のため、こちらも各診療科に入院期間Ⅱの退院率の状況を周知し、職員に危機意識を持たせるように取り組んでいます。

一方で、本市の地域特性として、令和6年度のDPCデータによりますと、退院患者の約62%が70歳以上の高齢者となっています。高齢患者は、急性期治療が終了した後も在宅復帰までに一定の期間を要するケースが多く、また、地域における回復期・慢性期の医療需要は9割を超えていることも考え合わせると、在院日数が長くなる傾向があることも事実です。

入院期間Ⅱの割合を高めることによって、入院改善率が上がり、結果として医療収益の改善につながるこ

とは事実です。しかし在院日数を短縮することで、病床稼働率が下がり、医療収益の減少を招く可能性もありますので、単に日数短縮を目的とするのではなく、病床稼働率及びDPC入院期間Ⅱの指標を注視の上、医療の質の確保と経営改善の両面からバランスの取れた対応を進めていく必要があるものと考えています。

その他の質問事項

◆全国学力・学習状況調査結果及びスポーツ活動・文化活動支援について

◆新型コロナウイルス感染症治療薬・予防接種における市民の健康と安全性の確保について



公明党

はなやま
畠山 ひろふみ
博文

増加する不登校とい じめの認知について

【質問】

本市のいじめの現状について問う。

【答弁：教育部長】

今年度10月末現在、小学校97件、中学校25件、計122件となっています。

認知件数の推移は増加傾向にあり、令和5年度には過去最高の209件、令和6年度は185件となっており、高い水準にあります。背景には、学校現場における早期発見・早期対応の意識が高まり、積極的に認知・記録するようになったこともあります。

いじめの内容については、冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるといった内容が多く、昨年度認知したいじめの約41%。続いて、軽くぶつかられた、遊ぶふりをしたたかれた、蹴られたりするが全体の20%。仲間

外れ、集団で無視されるが約12%。嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたりさせられたりするも約12%と続いています。

【質問】

いじめをなくすための具体的な対策を問う。

【答弁：教育長】

本市の小・中学校では、タブレット端末による相談システム「キモチまじわうトコロ相談ポスト」によって児童・生徒の悩みを早期にキャッチできる仕組みを整えています。

また、児童・生徒の心や体調の変化を見逃すことのないよう、教員のみならず、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、医療機関などと連携しながら、早期発見に努めています。児童・生徒の悩みを早期に発見し、初期段階から組織的かつ丁寧に対応し、いじめの見逃しゼロを目指していくこと、児童・生徒が安心して学び成長できる教育環境を保障することが、いじめを減らすことにつながるものと考えています。一方、いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり

得る可能性があるという認識を持ち、いじめの早期発見と迅速な対応のための教職員研修、学校内で情報を共有し合う校内支援体制、スクールカウンセラーや相談ポストによる相談体制をさらに充実させていきたいと考えています。

あわせて、働き方改革により、教職員が心にゆとりを持って子どもたち一人一人に寄り添える環境の整備に努めたいと思います。

教育委員会としても、今後子どもたちが学校が楽しい、学校に行きたいと思えるような教育環境を実現するため、地域や保護者の皆様とも連携しながら、いじめ根絶に向けて全力で取り組めます。

心通わせる共生社会 の実現に向けて

【質問】

今後の手話の広がりについて、所感を問う。

【答弁：保健福祉部長】

今年6月に成立した手話に関する施策の推進に関する法律や、それに伴い制定された手話の日、そして歴

史的な成功を収めたデフリックピックは、手話が単なるコミュニケーション手段ではなく、聴覚障がい者にとっては大切な言語であるという認識を社会全体に深め、共生社会の実現に向けた大きな一歩を記したものであると認識しています。

現在、宇和島圏域では、手話通訳者等派遣事業の利用登録者数は、令和7年11月末時点で44名、うち24名が医療機関、介護施設、日常生活といった様々な場面で定期的に手話通訳派遣を利用されています。

今般の法制定とデフリックピックの成功を契機として、手話のさらなる普及定着は、今後より一層加速するものと見込んでいます。

本市としても、この契機をいかし、宇和島圏域における手話通訳者の人材育成や、既存の手話通訳者等派遣事業の資質向上に努めてまいります。今後も手話を言語として尊重し、聴覚に障がいのある方が地域で安心して生活でき、積極的に社会参加できる環境づくりを目指して引き続き取組を進めてまいります。

南海トラフ地震に対す る備えのアップデート について

【質問】

防災・減災アンケート調査の実施について問う。

【答弁：企画施策部長】

本市が運用しているRUCPOINTのアプリのアンケート機能を活用することで、スマートフォンを利用したアンケート調査と地域ポイントの付与を組み合わせることで、この仕組みを活用した具体的なアンケート内容について検討を進めたいと考えています。

その他の質問事項

- ◆地域に根差す郵便局の活用について
- ◆注目集まる再生二期作米について
- ◆活字離れと本離れについて
- ◆うわじま歩ポのアップデートについて



無会派

横野 洋子

宇和島フォトフェスティバル2025について

【質問】 0歳から18歳までの子どもたちに配布した無料の写真集は何種類あったか知っているのか。

そして、その中身を確認したのか。

【答弁：市長公室長】

私も配布場所にて実際に鑑賞や閲覧した写真集はたくさんありましたが、全ての中身は確認していません。

【質問】

無料配布の写真集の配布対象が子どもたちであるというところで、教育長にも聞いておきたい。教育長は無料配布したことを知っていたのか。

手に取って見たのか。

【答弁：教育長】

無料で写真集を配布したことは知っています。中身は確認していません。

【質問】

子どもと一緒に行って、父親が入口で引換券をもって店舗の中に入ると、無料の写真集はこちらの中から好きなものをどれでもお取りくださいということ、写真集をめくると目を疑うようなページが出てきて、これは子どもに見せられない、教育的配慮に欠けたページが出てきて、すごく驚かれたとのことだ。

こんな写真集が子どもたちに無料で配布されているのかと。市主催のイベントでこんなことがあっていいのかと。

こちらの写真集は、議場ではとても見せることができないうような、女性が一糸まとわぬ姿のものが載っている。

市主催のイベントで、このような写真集を客寄せに使って子どもたちに無料配布したことは言語道断である。

市長公室長の見解を問う。

【答弁：市長公室長】

今、議員の御発言のような表現が含まれる写真集があった場合も、現実性を考

慮すると一概に不適切とは言いがたいところもありますが、未成年を対象とした企画では慎重な対応が必要な場合もあると考えます。

【質問】

教育的配慮がない写真集である。アート、芸術と言えればそれで済むのか。教育長の見解を問う。

【答弁：教育長】

今回の写真集は、学校を通じた配布でないことから、教育委員会は写真集の内容について知り得る立場にありません。したがって、事前の把握や確認等は行っていない。

なお、子どもたちへの配布の是非については、私も慎重な対応が必要であると認識しています。

【質問】

市長はどう考えるのか。若い世代や子どもたちが本物の芸術に触れ、創造性を育むことができる環境を整えることは、地域の未来に希望をもたらす第一歩だと市長は言っている。

この写真集のことを知っていたのか。

子どもたちがあまり行かなかったから、188部し

か配布されなかったから大きな問題にならなかったことが不幸中の幸いだと思う。

市長公室が開催した市長肝入りのイベントで、これは大変なことだと思う。後ほど写真集の中を確認していただきたい。

【答弁：市長】

私も写真集を配布することとは知っていましたが、その全ての内容を目にしていません。

慎重な対応が必要な部分はあるのかと思います。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用による生活支援策について

【質問】

9月議会で、市独自で物価高騰対策に踏み切ってほしい、と市長に述べると、横野議員のそんなやり方は財政が持たないと言われた。今ならどうするか。

国からの交付金は確定しているから、速やかに事業計画を策定し、3月議会を待たずに臨時会を開いて実行していただきたい。年度

末には皆さんの手に届くようにしてもらいたい。

【答弁：市長】

どの自治体も自分の財布からというよりかは国の交付金でやっているの、時期のことなので、そこは慎重に御発言をいただきたいと思えます。

また、確定していません。

8・8億円というのは今日計算してということだから、こういう報道が走ると、ひよっとしたら7億円で終わるかもしれないし、十分に皆さんにも御理解をいただきたいと思えます。

その他の質問事項

◆令和6年度から開始された基金の運用(国債購入)について

◆道の駅津島熱田温泉について

◆市学生寮の配食業務委託等について

